■市民の皆様からいただいた「市長への手紙」に対する回答の内容をまとめました。

○市長名で回答した「市長への手紙」：　４件
○上記以外の「市長への手紙」　　：１５件（担当課対応、匿名、回答不要、市政に直接関係のない内容等）

■市長名で回答した「市長への手紙」（受付年月：令和８年８月分）

対応状況凡例：○＝手紙の内容に応じて対応済
△＝手紙の内容を検討中
×＝手紙の内容に対応できない
―＝上記以外

NO.	種別	件名	要旨	対応		所管課
				内容	状況	
1	メール	リニア新幹線工事に流域市民もモニターに	とうとうリニア中央新幹線の静岡工区の着工が前に進むようです。なぜ、水資源の枯渇、自然環境の破壊が危惧される南アルプスの地下を通す必要があるのか納得していません。 今回、着工の前提となる自然環境保全協定が締結されたことが県や流域市町が着工を前に進めることを認めたと思います。川勝前知事が大井川の水を守り、自然環境保護の立場からＪＲ東海と強く対峙したからこそ、この協定につなげたと思います。その協定の中で「不測の事態には直ちに工事を中断し、原因を調査し報告する」ことが明記されているといいます。 ＪＲ東海は工事を進める中で、これを誠実に順守してもらいたいと思いますが、岐阜県瑞浪市の地盤沈下に対する報告遅れの前科もあることから信頼性が疑われます。県は、対策の実効性を高めるためにモニタリング体制を構築するといいますが、県当局だけでなく、私達大井川流域住民も日常生活の中で「森や川・池、井戸がどうも何か変」と感じたら県や市町当局に連絡するモニターになることも必要と思います。流域市町首長の会合等の中で提案したらいかがでしょう。	このたびは、市長への手紙をいただき、誠にありがとうございます。 　御意見いただきました「リニア新幹線工事に流域市民もモニターに」につきまして、回答いたします。 　令和８年７月18日、リニア中央新幹線静岡工区について、県専門部会等で議論された自然環境保全措置、モニタリング、リスク管理などＪＲ東海が履行すべき全ての措置を盛り込んだ自然環境保全協定が静岡県とＪＲ東海との間で締結されました。 　リニア中央新幹線南アルプストンネル工事によって、市民生活や地域産業に影響がないようにするためには、工事着工前、工事中はもとより工事完了後も見据えた継続的かつ永続的なモニタリングと情報共有が重要であると考えます。 　こうしたことを踏まえ、静岡県においては、県が設置する「環境影響評価審査会中央新幹線部会」と、国土交通省設置の「リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議」が連携し、JR東海による保全措置の実施状況等をモニタリングする体制を構築しています。 　このモニタリング体制につきましては、国、県、ＪＲ東海に加え、地域の関係者として島田市を含む大井川流域８市２町も含まれており、地域・住民として確認した異常事象や損害発生を地域から国、県、ＪＲ東海へ連絡及び相談する体制となっています。 　今後、水資源のことでお気づきのことがありましたら、担当課である戦略推進課にご連絡をいただきたく存じま	○	戦略推進課 (36-7120)

				す。 市としましては、ＪＲ東海に対して、自然環境保全措置とモニタリングの着実な履行、継続的な情報共有と対話を求めていくとともに、リニア中央新幹線整備によって市民生活や地域産業に影響がないように、今後も大井川の水資源や自然環境の保全に向けて、国や県、流域市町と連携し、取り組んでまいりたいと考えています。 この度は、貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。		
2	メール	市長への提言	現在の島田市は夏祭りなどの行事が盛んであり、地域の人々の交流が多いです。近年飲食店が増えてきています。小さい頃から多くの自然と触れ合うことができるなどの良い点があり、住みやすく豊かな市であると言えると思います。しかし、島田市の貴重な観光資源である日本一長い木造の橋、「蓬莱橋」をうまく活用できていないのではないかと考えました。私達が考える蓬莱橋の具体的な課題はそもそも蓬莱橋を渡る人が少ないという点です。その理由を「蓬莱橋を渡る理由が乏しいから」だと考え、対岸（南側エリア）に誰もが気軽に立ち寄れる「レトロな駄菓子屋兼休憩処」の設置を提案いたします。具体的には、木造のカウンターに透明なケースや瓶に入った色とりどりの駄菓子がずらりと並べられているような駄菓子屋です。また、島田市のマンホールを直径5cmほどのキーホルダーにし、ガチャガチャの景品としてこの駄菓子屋のみに設置することを提案します。島田市に観光に来た人たちの思い出の品として買いに来てもらうことで、蓬莱橋を渡る人が増加すると思います。ご検討のほど宜しくお願い致します。	焼津中央高等学校　１年生の皆様 この度は、市長への手紙をいただき、ありがとうございます。 皆さんから提言していただきました「蓬莱橋の活用に係る駄菓子屋兼休憩処の設置」について、詳しくお答えします。 蓬莱橋の活用については、周辺の整備を計画的に進めています。左岸側（大井川の北側エリア）においては、「蓬莱橋897.4（やくなし）茶屋」や「蓬莱橋897.4広場」などを整備しました。この広場は、賑わいの拠点として定着し、令和７年度の実績において、270日以上におよぶ大小さまざまなイベント等が開催されました。 また、現在は、令和４年度から令和８年度までの計画に基づき、右岸側（大井川の南側エリア）において、憩いの場や賑わいの創出を目的とした広場や休憩施設などの整備を進めています。今後は、右岸側の利活用をさらに推進し、左岸側から右岸側へ橋を渡ってもらうための取組を実施していきます。 提案いただきました右岸側への駄菓子屋の設置については、お店を建てる費用や電気代・水道代などの維持費、運営を続けていくための人手などを総合的に考えてみますと、今の段階で実現するのは非常に難しい状況です。しかし、皆さんからいただいた提案の目的や「ここを良くしたい」という真っ直ぐな思いは、市としても本当に大切な視点だと受け止め、感謝しています。特に、右岸側の賑わいづくりはとても重要です。そのため、今年度以降は、アウトドア体験などのイベントを行いながら、民間の会社やお	×	観光課 (36-7394)

				店などに協力してもらえる方法がないか幅広く検討を進めていきます。 　もし、皆さんの中で「こんなふうに賑わいを作りたい」という別のアイデアや思いがほかにもありましたら、ぜひ気軽に観光課までお話ししにきてください。これからも、皆さんと一緒に蓬莱橋周辺をさらに盛り上げていけたら幸いです。 　また、マンホールの景品については、現在、島田市観光協会において、市の「下水道マンホール蓋マグネット」の制作を進め、秋頃から「蓬莱橋897.4茶屋」などでの販売を開始する予定です。こうしたご当地ならではのオリジナルグッズを効果的に活用し、本市の観光振興につなげていきます。 　今後、活気ある左岸側と新たに整備する右岸側を一体的に運用することで、より多くの観光客を迎え入れる体制を整えていきます。この度は、素晴らしいご意見をいただき、誠にありがとうございました。		
3	メール	市長への提言	いつも島田市を支えてくださり、ありがとうございます。 島田市民の一人として、イベントや行事を楽しませてもらっています。 特にしまだ夏祭りでは、屋台だけでなく、ダンスや楽器演奏、消防車の乗車体験などの幅広いイベントがあり、様々な年代の人でも参加しやすいお祭りになっていると感じています。 ですが、島田市は今、少子化が進んでいる傾向があるという現状が見受けられます。 この伝統的なお祭りを続けていくためには、市の人口を増やしていく必要があると考えています。 そこで、市の人口を増やすために、一つ私たちの方からご提案があります。 道路の整備や、街灯を増やして、島田市の環境整備をしていただくというものです。 日が落ちたあと、自転車で走っていると街灯が少なく、道路のひび割れで転びそうになってしまったことが何度かありました。転ぶだけで済むなら軽症ですが、車も	焼津中央高等学校　1年生の皆さんへ 　このたびは、「市長への手紙」を送ってくださり、ありがとうございました。 　皆さんが島田市を訪れ、夏祭りなどのイベントを楽しむだけでなく、まちを実際に歩いた中で感じたことを、「もっと島田市を良くするために」と考え、提案してくださったことを、とてもうれしく思いました。 　特に、「これからもお祭りを続けていくためにも、若い人たちが住みたいと思えるまちにしてほしい」という皆さんの考えに、私は大変心を動かされました。 　まちづくりは、市役所だけが行うものではありません。「ここが危ない」「こうなったらもっと暮らしやすい」「こんなまちなら住んでみたい」という市民の皆さんの気づきや声から、まちが少しずつ変わっていきます。皆さんのような若い世代の視点は、これからの島田市を考えていく上で、とても大切です。 　ご提案いただいた道路や街灯についても、安全に歩いたり、自転車で通行したりできる環境を整えることは、暮らしやすいまちをつくるための基本だと考えています。	○	建設課 (36-7183)

			通っているため、このままだと大事故にもつながってしまうかもしれません。 駅周辺やローズアリーナの周辺には人が多く通るのにもかかわらず、環境整備があまり整っていないように感じます。特に、ローズアリーナの近くにある中央公園には、子供連れの家族や、子供同士で利用している団体が多く見受けられます。道路の整備が整えば、事故を防げるだけでなく、利用したいと思う人が増え、島田市の発展にもつながります。 人が多く通る場所なので、工事は大変だとは思いますが、事故を防ぐためにも整備をお願いします。 環境が整備されていれば、安心、安全に暮らすことができます。そうすれば、島田市に住みたいと思う人も自然と増えてくると思います。 今後の島田市の発展のために、ご検討をお願いいたします。	一方、市内にはたくさんの道路や橋、街灯などがあり、古くなった施設も増えています。そのすべてを一度に整備することは難しいため、市では、危険性や利用する人の多さ、通学路であるかどうかなどを確認しながら、優先順位をつけて修繕や整備を行っています。 皆さんが気づいてくださった道路のひび割れなどについても、場所や状況を確認し、必要な対応を検討していきます。大きな道路工事だけでなく、危険な箇所を少しずつ直していくことも、大切なまちづくりの一つです。 そして、道路をきれいにしたり街灯を増やしたりするだけで、すぐに人口が増えるわけではありません。しかし、「歩いていて安心できる」「子どもを育てやすい」「まちに出かけたくなる」という小さな安心や魅力の積み重ねが、「このまちに住みたい」と思ってもらえることにつながっていくと、私は考えています。 皆さんは、これから進学や就職などを通して、さまざまなまちを見ていくことと思います。その中でぜひ、「自分なら、どんなまちに住みたいだろう」「どんなまちをつくりたいだろう」と考えてみてください。 そして、島田市に来た時にも、これからも気づいたことをぜひ教えてください。 皆さんの世代が大人になる頃の島田市をつくっていくのは、今の大人たちだけではありません。皆さん自身も、未来のまちをつくる大切な一人です。 今回いただいた提案を、これからのまちづくりを考える上での大切な声として受け止めさせていただきます。 島田市の未来について一緒に考えてくださり、本当にありがとうございました。 皆さんがこれからも、まちや社会に関心を持ち、自分の考えを言葉にして伝えてくださることを楽しみにしています。		
4	手紙	おおるり市民交流センターについて	おおるり市民交流センターの設備改善について ①市民交流センターには、様々な市民が集まります。そこで、現在の一般的な椅子から、座る人に合わせて高さを調整できる椅子への変更を検討していただきたいです。より長い時間ここで勉強したいため、腰が痛くならないよう、このようなお願いを提案致しました。	平素から市政に対する御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。 お問い合わせいただきました「プラザおおるりの設備改善」につきまして、回答させていただきます。 ①プラザおおるり市民交流スペースは、どなたでも利用しやすい場として、多くの皆様に幅広い用途で御利用いただいております。このため、利用状況に応じて配置変更がし	①× ②〇	文化振興課 (36-7966)

			②また、パソコン等を利用する際に使える充電用コンセントも設置していただけると、より便利になると思います。 ご検討よろしくお願いします。	やすく、どなたでも扱いやすい椅子を設置していることから、現時点で新たな椅子の購入は予定しておりません。 ②充電用コンセントにつきましては、パソコン等のデジタル機器の利用が増加していることを踏まえ、利便性向上のため、９月下旬頃までに順次整備してまいります。 　今後は、いただいた御意見や実際の利用動向を踏まえつつ、他施設の先進事例なども調査しながら、適正な施設運営を進めてまいります。 　この度は、貴重なご意見をありがとうございました。		